

施策分析シート（令和2年度）

No1

施策名	「読書のまちづくり」の推進	施策No	10-03	部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課
				課長名	成瀬 内線 436

関連部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課
-------	----------------

行政評価	分野	V	文化創造都市
事業体系	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成

目的 図書館における蔵書の充実やレファレンス（読書支援）の更なる向上を図り、生涯学習やボランティア活動の拠点として地域に親しまれる図書館づくりを進めるとともに、様々な読書活動の促進により読書環境を整え、「読書のまちづくり」を推進していく。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		29年度	30年度	元年度	
①	子育て・教育環境の満足度	3.46	3.54	3.59	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思えますか
②	生涯学習環境の充実	3.01	3.06	3.07	生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか
③	地域の人との交流の充実	2.67	2.64	2.71	お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると思えますか
④	充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感	2.53	2.51	2.59	充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
①	図書館入館者数（人）	1,559,381	1,642,968	1,608,475	1,192,000	1,800,000	ゆいの森あらかわ及び各図書館の入館者数の総計
②	個人登録者数（人）	80,495	91,743	78,506	83,000	130,000	ゆいの森あらかわ及び各図書館の個人登録者数の総計
③	区民一人当たり蔵書冊数（冊）	4.2	4.3	4.3	4.4	4.8	ゆいの森あらかわ及び各図書館の蔵書数÷住基人口
④	区民一人当たり総貸出点数（点）	9.6	9.7	9.2	7.5	10.0	ゆいの森あらかわ及び各図書館の個人総貸出点数÷住基人口
⑤	レファレンス件数（件）	4,267	4,561	5,748	4,700	8,520	ゆいの森あらかわ及び各図書館のレファレンス件数の総計

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	行政費用	給与関係費	141,926	158,100	16,174	地方税	0	0
物件費		256,473	277,563	21,090	国庫支出金	0	0	0
維持補修費		8,801	7,547	▲1,254	都支支出金	0	0	0
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		1,878	2,395	517	使用料及び手数料	149	181	32
減価償却費		50,500	50,500	0	その他	1,520	2,023	503
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	1,669	2,204	535
賞与・退職給与引当金繰入額		15,746	53,545	37,799	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲473,655	▲567,598	▲93,943
その他行政費用		0	20,152	20,152	金融収支差額(d)	▲1,414	▲1,251	163
行政費用合計(b)		475,324	569,802	94,478	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲475,069	▲568,849	▲93,780
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲475,069	▲568,849	▲93,780

貸借対照表	勘定科目	30年度	元年度	差額	勘定科目	30年度	元年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,063	17,000
不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金	0	0	0
その他の流動資産		0	0	0	特別区債	0	17,000	17,000
固定資産	有形固定資産	1,371,910	1,323,688	▲48,222	賞与引当金	3,063	0	▲3,063
	土地	293,907	293,907	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	2,157,964	2,160,243	2,279	固定負債	467,269	519,000	51,731
	建物減価償却累計額	▲1,079,962	▲1,130,462	▲50,500	特別区債	436,000	519,000	83,000
	工作物等	94,477	94,477	0	退職給与引当金	31,269	0	▲31,269
	工作物等減価償却累計額	▲94,477	▲94,477	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	470,332	536,000	65,668
	建設仮勘定	609,933	805,333	195,400	正味財産	1,539,530	1,621,040	81,510
	その他の固定資産	28,019	28,019	0	正味財産の部合計	1,539,530	1,621,040	81,510
	資産の部合計	2,009,862	2,157,040	147,178	負債及び正味財産の部合計	2,009,862	2,157,040	147,178

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用のうち、令和元年度の物件費の内訳は地域図書館課147,493千円、ゆいの森課130,070千円となっている。前年度に比べ物件費が増加しているのは、新尾久図書館整備事業に係る費用が増加したためである。維持補修費の主な内訳はLED照明への入替修繕（町屋図書館）4,064千円、南千住図書館非常用照明改修2,278千円となっている。その他の行政費用は新尾久図書館建設工事に係る工事請負費である。
○行政収入のうち、使用料及び手数料は自動販売機の行政財産使用料181千円。その他の行政収入の主な内訳は汐入図書サービスステーション物件の社会福祉協議会への転貸賃料1,269千円、光熱水費受入176千円である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○令和元年度の荒川区政世論調査では、図書館を利用しない割合は51.3%と半数を超えている。</p> <p>○各図書館ではそれぞれ分野を定めて専門資料を収集し、特色ある蔵書整備を進めている。</p> <p>○図書館の利用者登録率（令和2年4月1日現在）は、小学生（7～12歳）83%、中学生（13～15歳）65%であり、20歳以上は24%となっている。</p> <p>○『荒川区子ども読書活動推進計画』（平成18年4月策定、第三次の計画を平成28年4月に策定）に基づき、柳田邦男絵本大賞の開催や学校図書館との連携、10代の子どもたちに向けた参加型イベントの実施等により、子どもたちの読書環境を整備し、自主的な読書活動を支援している。</p> <p>○平成30年5月には「読書を愛するまち・あらかわ」宣言を行い、区のこれまでの取組やその精神を未来につなげるため、読書を愛するまちを展開するために「街なか図書館」の開設等の取組を推進している。</p> <p>○新たな尾久図書館は、地域のシンボリックな建物になるよう宮前公園内に令和2年度中の開館を目指し整備を進めている。</p>
課題	<p>○より多くの区民が図書館を利用できるよう、本を借り読書を楽しむ空間としてだけでなく、地域コミュニティや地域活動も楽しめる滞在型の図書館づくりを進める必要がある。</p> <p>○各図書館における特色あるサービスについて検討を深め、より多くの区民に愛される図書館づくりを進める必要がある。</p> <p>○図書館の利用者登録率は、中学生以降低下傾向にあるため、子ども読書推進活動を更に推進し、生涯を通じて利用できる図書館としてつなげていく必要がある。</p> <p>○荒川区全体が「読書を愛するまち」となるよう、身近で本に親しむことができる環境整備として「街なか図書館」の開設を推進し、区内公共施設や民間事業者等と連携した読書環境を整備する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○生涯学習や地域活動の拠点として、区民に愛される図書館づくりを進め、新型コロナウイルス感染症防止策を講じながら、乳幼児から高齢者まで、様々な世代が利用できる滞在型図書館の実現を目指していく。新たな尾久図書館は滞在型の図書館づくりを進め、乳幼児から高齢者まであらゆる世代が安全・快適に利用でき、また安心できる居場所となるような環境整備を行い、地域活性化の拠点としての役割を担う図書館を目指していく。</p> <p>○「荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方」にもとづき、地域の特性や利用者のニーズを踏まえながら図書館のあり方を検討し、区民の知的好奇心を満たす魅力ある書架構成を行うなど、地域に根ざした図書館づくりを進める。</p> <p>○学校・幼稚園・保育園等と連携を更に促進するとともに、おはなし会やおたのしみ会など図書館事業の充実を図り、子どもたちの読書習慣を育む。</p> <p>○図書館の蔵書や館内スペースを有効活用し、学習支援事業を実施するなど、子どもたちが安心して居場所づくりを進める。</p> <p>○読書を愛するまちをさらに展開し区内外へのPRに努めるとともに、読書活動推進事業や街なか図書館等の読書環境の整備を図っていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
2年度	3年度	
重点的に推進	重点的に推進	図書館は、区民の生涯学習活動、区の情報発信の拠点として最も身近な存在であり、自立した区民の成長と地域の活性化の礎となる公共施設であることから、当該施策の優先度は高い。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		30年度	元年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
中央図書館運営費	05-04-04	221,591	220,500	130,022	132,219	重点的に推進	重点的に推進	「読書を愛するまち・あらかわ」の実現に向け、図書館サービスについて周知し、活用してもらう必要があるため、重点的に推進する。
地域図書館施設の管理	05-05-01	130,213	149,624	69,010	69,142	継続	継続	地域図書館の維持管理及び運営にかかる事業であり、効率的に管理するため継続して実施する。
特色ある地域図書館の推進	05-05-02	96,866	119,199	59,149	60,297	重点的に推進	重点的に推進	地域に根ざした、地域の特性を生かした地域図書館としての取組みを発展させ、魅力ある図書館となるため、重点的に推進する。
図書館施設の改修	05-05-03	20,590	24,037	8,801	9,825	推進	推進	区の長期改修計画及び荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方を踏まえ魅力ある図書館を実現するため推進とする。
新尾久図書館の整備	05-05-04	6,065	56,442	556,929	233,852	重点的に推進	休止・完了	新たな尾久図書館は、地域のシンボリックな建物になるよう宮前公園内に令和2年度中の開館を目指し整備を進めている事業であるため完了とする。
合計		475,325	569,802	823,911	505,335			